

寄稿 堂々たる横綱相撲を望む(下) 高宮 宏(藤島中町)

文化遺産とは 偽装ブランド

9月5日に発行されたという榎本まさき市長の後援会資料が、私の所にも届いたので感想を述べてみよう。

まず、「新文化会館は未来に残る文化遺産!!」との表題だが、しっかりと見つめてみると、この作品には日本文化

もないことに気が付く。敢て上げれば、追加発注された緞帳(とんちやう)であり、建物自体はただ奇抜なだけの代物だということがお分かり戴

けるだろう。

文化遺産と呼べば文化都市鶴岡の面目躍如にも聞こえようが、言葉で偽装し粉飾(こな)されていただけだから始末が悪い。

見抜くことの出来る人こそが、健全な批判勢力と呼ぶに値する市民といえよう。

政治の中核を為す対話

鶴岡市政は一万人車座集(ざいしゅう)会を看板の一つに掲げてきた。

しかし、市民からのこのような提案を生かしてこのような改善が為されたという実例は

大半田地内の交差点で自動車事故が多発

大半田地内の交差点で15日、自動車事故が発生し、衝突された浅賀建設の社員から翌日、「細谷から一時停止しないで踏切に直進する車が多く、事故が頻発する交差点だ。警察に話をしても進展しない」と加藤鉦一議員が相談を受けました。

早速、藤島庁舎の担当課に電話し、職員が現場を確認。11月12日対策が図られる予定とのことです。



(写真右が9月15日、左が7月18日の事故。写真提供は浅賀建設)

聞かれない。

安倍総理が「丁寧な説明を続けていく」と語っても、ともに受け取っている国民はいないので同じだ。

「丁寧な説明を待つ馬鹿な奴」と詠んだ川柳人がいたように、国民市民のことなど考えちゃいないのが、この国の保守といわれる政治体制であり、キリスト教の自由・博愛・平等を基盤とする欧州の高潔(こうけつ)な政治とは、相容れない私利私欲にまみれた社会なのだ。

この度の選挙についてマスコミ報道は、「政策に大きな違いは見られない」としているが、余りにも表面的な比較論でしかないのが極めて残念だ。

「市政トップが市民の間に混乱を招いたとして、報酬の3割カットを決断した」というが、選挙目当ての後出しジャンケンとしか思われぬのは、反省の言葉が聞かれないからだ。

混乱を拡大し市民を辱めた16名の新政クラブ議員の報酬は、何故カットされないのかを見れば、反省の無さを知ることが出来る。(2面につづく)

庄内地方の凧文化 28

庄内の伝統凧「すみ凧」の謎に迫る(十二) 鈴木 隆(小中島)

庄内にだけしかない「すみ凧」。しかも最上川を境に北側(川北)では全く揚がっていない謎の凧について調査研究を続けて15年、漸く辿りついたのが、二種類ある「すみ凧」のどちらにも清正に由来する凧に違いないとの結論を得た。



蛇の目紋

清正の兜

「すみ凧」の中央赤い輪は清正の家紋「蛇の目」を表わし、四隅の模様は「兜の鉾形」で、唐草の蔓と葉を巧みに抽象化したもので、古来から唐草模様は邪鬼や禍を防ぎ、中の大切な物を守るとされ、よく船筆筒の隅金具の模様や目出度い時の大風呂敷の模様用いられてきた。

「すみ凧」についても幕府や他からの災難を払い、中の「蛇の目紋」、即ち加藤家を守ってほしいとの願いが込められている。

「すみ凧」についても幕府や他からの災難を払い、中の「蛇の目紋」、即ち加藤家を守ってほしいとの願いが込められている。



絵柄は「蛇の目紋」と「唐草」



絵柄は「清正の顔」

次に示すもう一種類の「すみ凧」は、曾祖父の代(江戸時代末期)から「清正の顔」と口伝されているとの説や、歴史研究者、民俗学者の中にも同様の見解をもつ人もあり、信憑性が高く納得できる。大きく口を開け、逞しい鼻髭と頬髯を蓄えた勇壮な顔は「清正の顔」と考えられる。清正は勇猛な武将としてばかりでなく、恩義に篤く温情な人柄として民衆から慕われた。清正亡き後、肥後五十四万石を継いだ忠廣は、幕府の捏造した罪状により領地没収の上、庄内に配流(流罪)され、庄内藩主酒井忠勝に預けられた。酒井家では幕府の忠廣への罪状に疑問を残しながらも、幕府の措置に従わざるを得なかったが、忠廣には好意ある扱いをしたと伝えられている。幕府は始め忠廣を左沢に配流先を決めたが、酒井家では、左沢は遠く目が届かないという事を幕府に願ひ出て丸岡に変更することに訴された。また、忠廣の嫡男(後継ぎ)は飛騨高山へ配流され、次男と妹は生母(忠廣側室)とともに上州沼田真田家に預けられた。



榎本陣営の選挙チラシ

(2面からつづく)
沈滞市政を改革する
のが健全な批判勢力

太古の昔にキリスト
教では、文字が読めな
い人たちへの教えとし
て、壁画を多用してき
たが、「健全で有能な批
判的市民グループ」を、
「共産勢力」と一括り
にした道路交通標識は、
いかにも市民を馬鹿に
した上から目線のお粗
末で、下品な表現方法
に違いなかった。

8年間の誇れる実績
があるのであれば、堂
々と主張されたらいい
のに、まるで白鵬の張
り手や猫騙しと同類の、

姑息な手段を執行して
いるとしか思われな
いのですが…。
選挙チラシ公表の前
に、市長さんの了解を
得ているのでしょうか。

仲松(鶴岡市出身)さんの
「沖繩からのたより」
権利は声をあげない限り
狭められていく
―あらためて憲法を学ぶ― 青山崇

仲松典子(旧姓佐々
木)さんの「沖繩からふ
るさ」とのたより」が
『荘内日報』に連載中
で、9日付である。「政
治には興味ないから、
という人もいます。で
も、沖繩に住んで、そ
れらは〈興味〉という

ジャンルではなく、生
きるこそそのものとし
て否応なしに目の前に
立ち現れました。何を
しなければならぬか、
はそこから当たり前の
こととして見えてきま
す(中略)。「権利」はあ
って当たり前なのでは

堂々たる横綱相撲を
見せて戴けることを期
待してきた一市民とし
ては、残念至極に思わ
れる選挙広報でした。
10月15日の投票日ま
で、先は20日余もあり
ます。
榎本政規市長と、新
人の皆川治氏両陣営と
もに、文化都市にふさ
わしいフェアな選挙
活動を展開されるよう
切望するものです。(終
)(高宮宏)

が国民に保障する自由
及び権利は、国民の不
断の努力によって、こ
れを保持しなければな
らない。」としている。
本来は99条で、国務大
臣は、この憲法を尊重
し擁護する義務を負う
としており、大臣で構
成される政府が、率先
して沖繩の人たちの権
利を守り、「不断の努力」
は無用なはずである。
戦後72年、沖繩の人た
ち(私たち)は、権利
を削りとられ声を上げ
続けなければならない。



人の道その2

モリとカケが不倫や
北の陰に隠れてしまっ
た感のこの頃だが、ワ
ザと隠しているんじゃ
ないでしょうネ。不
倫以上に国政を揺るが
すものなんじゃが。

と思うが、8億円をま
けた事やこれの書類が
無くなったと言いつつ
たヤツには、倫理上の
責任があると感ずるぜ。
▲なにを言われようと
本当のことを隠し通し
たからと、国税庁長官
に出世させてもらった
そんな彼には、「良心」
というものがあるんだ
ろうか。自分の子ども
にどんな教え方をして
きたものなんだろうか
と思いませんか。

▲モリが何億円誤魔化
したとのニュースが、
国のやったことを免罪
するように扱っている
と感ずる報道。これは
裁判になったから出て
きたもので、学校が動
き出していたらそのま
まだったでしょうヨ。
総理夫妻がサ、教育勅
語の唱和を讀んでいた
人の学校だから。

▲首相が年何回も接待
を受ける仲のカケも、
同じように事業費が高
すぎて問題になってい
るとのこと。県と市の
お世話になるんだそう
だが、基本となる坪単
価が問題なんだとか。
▲倫理上これらは不
倫というんじゃない
の。(石川)

昭和も遠く34 中町・成澤功

鶴岡市長選挙で話題
の新文化会館。現職と
新人が両者とも市長報
酬3割カットを明言し
ています。賛成議員も
同じく市議報酬3割カ
ットを公約に加えたら
どうですか。

開運橋が竣工しました。
超モダンな橋で、時の
富塚陽一市長に同級生
の誼みもあり、「直近に
風間家や丙申堂の石屋
根杉皮葺きの古い建物
が現存する。なんか風
景としてちぐはぐな感
じがする」と。富塚君

できゅつと押し潰した
ような姿だ」と書きま
した。俳優池部良のエ
ッセイで岡本かの子に
ついて「じゃがいもを
煮しめたような崩れた
顔の叔母かの子」と書
いていたのを思い出し
ました。かの子は芸術
家岡本太郎の母親です。

新文化会館の超モダ
ンな姿形。私は大川渡
生まれですが、父の仕
事の都合で朝陽一小に
通学しました。今も残
っている致道館が職員
室でした。新しい文化
会館にものごく違和
感を感じます。

私はある政党のアン
ケートに「文化会館は
まるで饅頭を手のひら

文化会館の愛称「タ
クト」。多くの人はズー
ブー弁で「タグド」と
しゃべるのではないで
しょうか。かつて横綱
柏戸が大相撲の検査役
で「アグドが先に土俵
に出た」と、行司の軍
配差し違えを正した話
が伝わっています。

20年ほど前、内川に